

歯科材料05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 高分子系ブラケット接着材及び歯面調整材 31750002
(歯科用エッチング材 36153000)

エムシーピーボンド

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと（使用上の注意の項参照）。

【形状・構造及び原理等】

以下の構成成分があり、記載の成分を含有します。

構成成分	性状	組成
パウダー	粉末	PMMA、BPO、その他
リキッド	液体	MMA、芳香族アミン、その他
アクチベーター	液体	MMA、4-META、その他
表面処理材レッド	液体	りん酸、水、その他

付属品：ダッペンディッシュ、スポンジ（L・S）、デイスボ用筆柄（直）、デイスボ用筆柄（曲）、デイスボチップ筆積L（ピンク）、デイスボチップ筆積S（緑）

【原理】

粉末と液体を混合することにより、常温で重合反応して硬化する。

【使用目的又は効果】

歯列矯正用アタッチメントを歯又は歯科修復物に接着する。

〔組み合わせる表面処理材レッドの使用目的〕

歯又は歯科修復物のエッチング（技工専用を除く）に用いる。

【使用方法等】

①接着面処理

（エナメル質の処理）

- 通法に従いエナメル質を清掃し、水洗、乾燥します。
- 歯面にスポンジで表面処理材レッドを塗布し、30秒経過後、十分に水洗、乾燥します。

（金属面の処理）

接着面を粗面*にし、水洗、乾燥します。貴金属の場合には金属接着用プライマー（例えば、V-プライマー）を塗布します。

※50 μ mのアルミナによるサンドブラスト処理または、カーボランダムポイントを用いての粗面形成

（陶材面及びレジン面の処理）

接着面を清掃し、水洗、乾燥します。次に別売の「スーパーボンド PZプライマー」を塗布します。

使用にあたっては、「スーパーボンド PZプライマー」の添付文書に従ってください。

②接着材の準備

- パウダーをダッペンディッシュの受け皿（表示P）に必要量採取します。
 - プレプライムド法を行うときは、パウダー採取は不要です。
- リキッド、アクチベーターをダッペンディッシュの同じ受け皿（表示L）に同量採取し、デイスボ用筆柄に装着したデイスボチップで混合して接着液を調製します。

注）接着液は揮発性なので5分以内に使用してください。

③ブラケットの装着

ブラケットの接着には、以下の2種類の方法があります。

A. ブラッシュ・オン・テクニック

（歯面への接着材の塗布）

- デイスボ用筆柄に装着したデイスボチップを接着液に十分浸し、受け皿の縁で筆先をそろえます。
- 受け皿（表示P）に準備したパウダーに筆先をつけて軟らかい玉を作ります。
- 被着歯面にうすく塗布します。
 - 歯面への塗布は、接着材は少量にとどめ、歯面が平滑になる程度にしておきます。

（ブラケットの接着）

次いでブラケットを接着します。

- DBS用ピンセットでブラケットをはさみます。

- デイスボ用筆柄に装着したデイスボチップを接着液に十分浸し、受け皿の縁で筆先をそろえます。
- 受け皿（表示P）に準備したパウダーに筆先をつけ玉を作ります。
 - 歯面に塗布する場合より、やや硬めの玉を標準的な筆積みの玉とします。
- その玉をブラケットベース面に塗布します。
- 位置や角度を考慮しながらブラケットを歯面に圧接します。
 - 硬化が速いのでポジショニングは早めに行ってください。
 - 圧接、ポジショニング後は硬化するまで動かさないでください。
- 接着材は6～7分で硬化します。（27℃）
- ブラケットベースからはみ出した接着材は、接着液を含ませた筆先で滑らかにします。
 - もし接着材が不足している部分があれば、筆先に小さな玉を作り、その部分に補充してください。
- 同様な操作で順次、各歯にブラケットを接着します。
 - 筆積み操作を繰り返し行う際には、筆先に残った接着材をよく拭き取ってから、筆を接着液に浸すようにしてください。
 - 接着材の硬化は探針などで確かめてください。
 - 硬化後は直ちにアーチワイヤーの装着も可能です。

B. プレプライムド・テクニック

- あらかじめ用意したプレプライムドブラケットをツイーザーで把持します。
- ブラケットのベース部分を2～3秒、接着液に浸します。
- ブラケットを歯面の所定の位置に圧接します。

④ブラケットの撤去

- ブラケットリムーバーの切端部を歯面と接着材との境界面にあて、プライヤーを握るようにして撤去します。
- 歯面に残留している接着材は、プライヤーを用いて削り取った後、スクレーパーで細部の除去を行います。
- 十分に接着材を取り去ってから、研磨材のついた研磨ブラシを用いて各歯面を数秒間研磨します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 歯面清掃にはフッ素を含まない研磨ペースト等を使用すること。
- ブラケットの接着面が汚れると、接着力が低下する。選択時など接着前の操作で、接着面を直接手で触れる等により表面を汚染させないこと。
- 歯面処理に先立って、接着面を十分に清掃すること。
- 接着面は、前処理終了後、十分に乾燥し、唾液、呼吸などで汚染されないようにすること。
- 使用後はすぐに閉栓すること。
- 筆積操作により残ったパウダーには接着液が付着しているため、筆積操作後のパウダーは容器に戻さず廃棄すること。
- 使用後のダッペンディッシュは、残存物をティッシュ等で除去し、「スーパーボンド 筆洗い液II」で洗うこと。硬化した場合は、水にしばらく浸漬した後、洗浄、乾燥すること。

【使用上の注意】

1) 使用注意

- 他の製品と混合して使用しないこと。
- リキッド及びアクチベーターは可燃性である。火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- MMAの蒸気吸入について、高濃度の蒸気を多量に吸入すると頭痛などのおそれがあるので、十分な換気がなされている場所で使用すること。高濃度の蒸気を多量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動すること。
- 使用中、水洗中に誤飲させないこと。万一、誤飲させた場合はうがいをさせ、必要に応じて医師の診断を受けさせること。

2) 重要な基本的注意

- 本材の使用により発疹等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- 本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本材に触れないようにすること。

また本材の使用により過敏症状を起こした場合には、使用を中止し、医師の診断を受けること。

③口腔粘膜や皮膚に付着したり、目に入らないように注意すること。

特に、表面処理材レッドは皮膚・粘膜腐食性のりん酸を含むため、水疱などの薬傷のおそれがあるので付着させないように注意すること。付着した場合は、すぐにアルコール綿などで拭いた後、多量の流水で洗浄すること。万一、目に入った場合は、すぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けさせること。

④使用するにあたっては、患者の個人差も考慮し、症例に適合するかどうかを判断して使用すること。

3) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・リキッド及びアクチベーターは火気厳禁のこと。
- ・多湿、直射日光を避け、室温（1～30℃）にて保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[使用期間]

本体に記載の使用期限*までに使用すること。

[記載の使用期限は、自己認証（当社データ）による。]

※（例 ♪○○○○-△△は使用期限○○○○年△△月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：サンメディカル株式会社

（本 社）住 所：〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

電話番号：077-582-9980

フリーダイヤル：0120-418-303（FAX共通）

電話受付時間 月～金（祝日を除く）午前9:00～午後5:30

ホームページ：<http://www.sunmedical.co.jp>